

2026年度 在宅ホスピスボランティア 養成講座 in 系島

在宅ホスピスとは人生の最期の時期を、入院ではなく住み慣れた我が家で、苦痛や不安を取り除くための医療を受けながら生活することです。医療・看護・介護がチームになってその方らしい暮らしを支えます。地域社会とのつながりやちょっとした気配りを届ける「在宅ホスピスボランティア」は、そのチームの中でも欠かせない役割を担っています。

今年も以下の要領で、在宅ホスピスボランティア養成講座をひらきます。系島ではこの講座の受講生を中心に、2014年に発足した在宅ホスピスボランティアの会「ヴィオラ」が活動をしています。全講義を受講された方には、修了証とボランティア手帳を交付します。

在宅ホスピスについて学びたい方、ボランティアに参加したい方のご受講をおまちしています。

日程：2026年9月19日(土)～10月31日(土)

会場：系島市健康福祉センター あごら

	日時	カリキュラム	講師(敬称略)	場所
第1回	9月19日(土) 13:30～16:30	オリエンテーション・在宅ホスピスとは何か? 在宅ホスピスと社会資源	佐々木隆光 平野頼子	研修室I
第2回	9月30日(水) 13:30～16:30	在宅ホスピスボランティアと法律 終末期の介護	市丸健太郎 山口俊弘	視聴覚室
第3回	10月17日(土) 13:30～16:30	症状と薬の理解 コミュニケーション	半田啓輔 田中千恵美	視聴覚室
第4回	10月21日(水) 13:30～16:30	介護実習 在宅ホスピスボランティアの実際	北村啓宣 ヴィオラ	視聴覚室
第5回	10月31日(土) 13:30～16:30	アドバンス・ケア・プランニング(もしバナゲーム) グループミーティング・修了式	小畑麻乙 世話人	研修室I

佐々木隆光(さくらのクリニック・医師)／平野頼子(緩和ケア支援センターコミュニティ・ふくおか在宅ホスピスをすすめる会・ケアマネジャー・看護師)／市丸健太郎(よりそい法律事務所・弁護士)／山口俊弘(系島医師会病院・看護師)／半田啓輔(系島医師会病院・医師)／田中千恵美(アクトグレースサポート株式会社・保健師)／北村啓宣(訪問看護ステーションTOMO 西・作業療法士)／小畑麻乙(系島医師会・ソーシャルワーカー)

▶受講料：無料

▶定員：20名 応募多数の場合は書類選考を行う場合があります

▶申込先：系島市社会福祉協議会(裏面参照)

▶申込方法：本紙裏面に必要事項を記入の上、郵送・FAXでお申込ください。

郵送・FAXでの申し込みが難しい場合は、092-322-2801(三苦)までお問い合わせください。

▶締め切り：9月11日(金)※途中からの履修についてはお問い合わせください。



福岡県委託事業 主催：ふくおか在宅ホスピスをすすめる会 / 福岡県

共催：いとしま在宅ホスピスボランティアの会ヴィオラ / 系島医師会 メディカルカフェ

後援：福岡県系島保健福祉事務所 / 系島市社会福祉協議会

郵 送:〒819-1105 糸島市潤1丁目22-1

